

2020年度 第1回 臨床教育研究懇談会

社会人大学院生にとっての 「学び直し」の意味

講師：岩崎 久志 氏

日時：12月19日(土) 13:00~15:00

会場：武庫川女子大学教育研究所棟 306 教室

対象：臨床教育学研究科院生・一般

申込受付：11月21日から
(先着 30 名)

申込方法：メール

申込・問い合わせ先

下記アドレスに
メールでお願いします

rinkyo@mukogawa-u.ac.jp

主催 武庫川女子大学大学院

臨床教育学研究科

講師紹介

岩崎 久志 氏

1986年関西学院大学
社会学部社会学科卒業、
2000年武庫川女子大学大学院
臨床教育学研究科博士後期課程修了、
出版社勤務、スクールカウンセラーなどを経て、
流通科学大学人間社会学部教授。社会福祉法人
神戸いのちの電話研修委員。博士(臨床教育学)、
公認心理師、臨床心理士、学校心理士SV

内容

本研究科での学修が、社会人が抱える課題・問題意識の解決にどのように役立ったのか、岩崎氏による多数の修了生へのインタビュー調査を踏まえ、その内実を明らかにしていただくと同時に、在学する院生が学びの目的と方向性を創出する一助としたいと思っております。

臨床教育研究懇談会（臨床懇）について

1994（平成 6）年に大学院臨床教育学研究科修士課程が発足しました。翌年、1 年生、2 年生がそろった 1995（平成 7）年 5 月 27 日に第 1 回の臨床懇が開かれました。初年度は、教員、修士課程院生、現場の教師・研究者などが話題提供し、9 回開かれています。院生自身が自分の問題意識を語ったり、研究者の報告を聴きながら、研究目的や方法を確かなものにしていく場として、臨床懇はあります。